



Team Dainan

八千代市立大和田南小学校
《校長室だより》
令和3年度 第21号
令和3年 9月21日

6年生 日韓交流オンライン授業Ⅱ ～子ども人権宣言～



ポストコロナ時代のSDGsの達成に向けた日韓交流オンライン授業の2回目を13日(月)に行いました。第1回目の交流授業では、アイスブレイキングを行い、第2回目は、日韓双方の子供たちが考えた「子ども人権宣言」を発表しました。

今回の校長室だよりでは、子供たちの考えた「子ども人権宣言」と感想を紹介いたします。

【子ども人権宣言】 ※人権侵害の事例を話し合った後、グループごとに考えた宣言です。

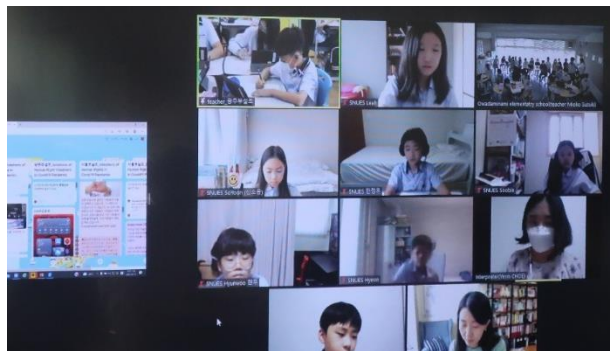
- コロナになった人も仲間はすれにしない！
- コロナかどうか決めつけない。いじめを見つけたら注意する。
- 他国の人や県外の人への差別をしない。
- 自分の言葉に責任を持つ。コロナにかかったとしても仲よくすることが大事。
- 他の人が差別をしても相手が嫌がらないように自分たちはしない。言葉は選んで言う。自分と違うからと言って差別はしてはいけない。
- 仲間外れにせず、いじめられている人がいたら助ける。外国人を差別しない。人が嫌がることをしない。

【感想】

- Padlet でみんなの意見を見たりし、動画がわかりやすかったです。最後の感想で緊張してうまく言えなかったけれど、言いたいことが言えてよかったです。また、韓国と交流したいと思いました。(七海さん)
- padlet を見て韓国の人たちの動画が真剣で、とても熱意が伝わりました。昨日全然コメントを打てなかったのが、家で padlet を使えてとてもうれしいです。昨日のまだ見ていない動画もあるので、見ていっぱいコメントを入れたいです。(鈴音さん)
- padlet で、韓国でどういう事例があるかもわかったし、劇とかでわかりやすくしてくれて、日本語じゃなくてもなんとなくわかって、自分たちと韓国人の子供たちと分かり合えたのかなあ～と思った。(悠理さん)
- 韓国の人権問題の事例や対策方法を知ることができてよかったです。韓国でも日本と同じような事例があったので、他の国で起きている差別は同じような差別なのか、違う差別が起きているのか気になりました。～中略～周りに人がコロナにかかっていても私は差別をしないし、自分がかかっていても差別してこないと信じています。(結月さん)



- padlet で韓国の方が日本語で動画に字をつけてくれたのでうれしかったです。私たちのクラスでは「劇やだ〜」っていう人がいたけど、劇の方が言葉がなくてもわかりました。なので、相手のことを考えてやるのが大切だと思いました。(千尋さん)
- 目の前で感想が言えなかったから少し後悔しました。なぜなら、とても貴重な機会だし、仲良くなりたかったからです。(まおさん)
- 最初の交流は、外国の人と話すなんて無理だと思っていたけど、韓国の人たちの発表がわかりやすかったから、通訳の人が翻訳する前になんとなく分かった。(幸大さん)
- 2回目の交流をして韓国と更に仲よくなれたと思う。韓国でも日本と同じで差別やいじめがあって悲しかった。韓国に日本語を話せる人がいたり、日本語を書ける人がいたりして、韓国語を話せるようになりたいなあと思った。(陽さん)
- 昨日の交流会、すごく楽しかったです。韓国の子たちが教えてくれたコロナ差別問題、たくさん問題が出てきました。日本と同じ問題が出てきて「コロナ差別がたくさんあるな」と思いました。でも、韓国の子たちの解決方法を見たら、「きっとコロナ差別をなくせる。」と思いました。この授業で学んだことは、コロナ差別は何があってもやっちはいけない。そして、韓国の子たちと仲よくなれた気がしたのでよかったです。(葉奈さん)
- 韓国や世界にももの本同様コロナによる差別・いじめがとても起きているのだなと思った。自分も気づかずにいじめや差別などを人に行っているかもしれないからしないように意識しないといけないと思った。韓国との交流は、二度とないと思うので貴重な体験をしたなと思った。(蒼大さん)
- padlet で日本と韓国の意見が似ていたからどの国でも起きていることがほとんど同じなんだと思って、悲しかった。韓国のみんなが動画を送ってきてくれて、わかりやすかったし、日本のために日本語の字幕を入れてくれたからやさしいなあと思った。(奏奈さん)
- 韓国の差別事例を見て、障がい者の人がコロナ検査をしてもらえないのを見て、コロナのことには関係ないのに受けさせてもらえないのはおかしいなと思った。今回は一つの事例の解決方法を考えたけど、padlet でいろいろな差別問題を知ったので、これらの問題についても対策を考えてみたい。(瑛奈さん)
- コロナでいろいろな差別をされている人がいるってことがよくわかった。障がい者だからって、PCR 検査できないのとかおかしくない？自分がもし障がい者だったらって考えたら、なんで検査できないのってなるから、もうみんな検査できるようにしなきゃダメ。じぶんがいやなことはぜったいにしない！！！！(莉理香さん)
- 2回目の交流授業は、1回目よりも活気があって、すごかったです。韓国の人たちがあげてくれた padlet の動画は、言語が通じなくてもわかるようにしてくれたり、自分たちの意見を細かく書いてくれたり、同じ6年生なのに何だか先輩みたいだな！と思いました。韓国の友達を見習って、私もすぐに感想を言えるようになりたいです。(玉枝さん)
- 1回目のときよりも仲よくなれたと思うのでうれしかった。行動宣言を書くときにあまり多く書けなかったのが少し残念だった。この学習を通して人権の大切さがすごくわかった。問題や今後自分たちにできることについて話し合うのが楽しかった。すごく貴重な体験なので、この体験を今後に活かしていきたい。韓国の小学生と交流学習ができなくなるのは少し悲しいと思った。韓国以外の国とも交流学習をしてみたいと思った。(桐さん)



※1 padlet

オンライン上で使えるツールですが、一つの画面にいろいろな人が文字を書いたり写真を貼り付けたりできるツールです。シェアが簡単なので、グループワークやアイディアを出し合う活動などに向いています。

